

ARAI NEWS

前人未踏のダブルタイトルホルダー フレディー・スペンサー“知ってる”

一気に夏が過ぎ去り、だいぶ寒くなってきましたね。バイクの調子はいかがですか?元気に乗ってますか?エッノナニ?「もうバイクは倉にしまっちゃいました。春が来て暖くなるのを待ちますっ」なーんて言っている人は、まさかないでしょうね。本当のバイク好きなら、寒さなんか吹っとばすホットなライディングで冬を過ごすでありますよ。でもって、ホットなライディングといえば、サーキットです。今シーズンの世界GPを振り返ってみると、やっぱりフレディー・スペンサーが1番ホットだったのでは……。アンラッキーだった84シーズンから一転、チャンピオンへ復活。しかも250ccと500ccのダブルタイトルだ。前人未到の栄光を勝ち取ったスペンサーは、まさにスーパー・ホットマンだね。というわけで、今回のArai Newsはスペンサーのヘルメットの“知ってる?”編をお送りします。

ハイスピードの世界に生きる男たち、特にレーサーは目が命などといわれるぐらい、視力が重視される。なんていうのは、もう常識。レーサーの視力を調べてみると、やはりはあたりまえ。1.0なんてバググンの視力の持ち主がソロソロしているんだ。でもフレディーは、そんな常識を打ち破り神話化してしまった。なんと彼はコンタクトレンズを使っているのです。エッノ知らなかった?そりゃ無理もない、コンタクトレンズを使っているかなんて、よっぽど近くでよく見ないとわからないからね。

ところで、85世界GP第1戦のキラミで、スペンサーのアライヘルメットに、ある変化があったのを知ってる?「カラーリングがかわった」ワーン、確かにスペンサーのロゴンスカラーに合わせてカラーリングがかわりましたが、これは中アタリってところ。ガムテープをはっていた「そう、大アタリ」スペンサーは白いガムテープをシールドの上部にはりつけていました。エッノ知らなかった?まあ、それを「カッゴイノ」と思った人は、まずいんじゃないと思えますが、「ダサイナー、なんであんなことするんだらう、ハテナ?」と思った人は多いはず……。では、なぜガムテープをはっていたのか。コンタクトレンズを使用している人は知っていると思うけど、あれって風とホコリにスゴク弱いんだよ。でもって、スペンサーもヘルメットに入ってくる風にはスゴク神経質なんだってさ。ハーン、ナルホド。ということば、シールドとヘルメットのスキ間をうめるためにカムテープをはったんだな。と思っ

たら大間違いであります。たどえそう

したとして、も、何の効果もありません。だって、もともとそこにはスキ間なんてないんですからね。でもそれじゃシールドがくもっちゃうって?全然、大丈夫、レー

スから得たノウハウをもとに開発したアライのアンチフォグシールドがスペンサーの視界を確保しているんです。市販化するために開発を急ピツチですめています。皆さんのお手元にとどく日も、もう間近。乞御希待。

とまあ、そういうワケで、今シーズン、スペンサーがはった白や青のガムテープは単なるおまじないだったのです。「ガムテープをはれば、ボクも速く走れるようになりますか?」などと聞かれても困ります。そればかりは、人それぞれウテってやつがあるわけで、何ともお答えできませんが……。でも「ボクは視力が低いんですけどレーサーになれますか?」という質問には、スペンサーとアライが「Yes」という答えをたしたのは確かです。

スペンサーといえは、もう一つ、あのディートナ200マイルもスコカッたね、フォーミ

